

## 【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年11月13日
【四半期会計期間】	第36期第2四半期（自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日）
【会社名】	株式会社アミューズ
【英訳名】	AMUSE INC.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 畠中 達郎
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【最寄りの連絡場所】	東京都渋谷区桜丘町20番1号
【電話番号】	(03)5457-3333
【事務連絡者氏名】	代表取締役専務取締役 齊藤 泰幸
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第35期 第2四半期連結 累計期間	第36期 第2四半期連結 累計期間	第35期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年9月30日	自平成25年4月1日 至平成25年9月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
営業収入(千円)	14,946,382	16,521,326	30,871,879
経常利益(千円)	1,987,280	2,095,857	4,245,765
四半期(当期)純利益(千円)	1,178,215	1,191,294	2,480,381
四半期包括利益又は包括利益(千円)	1,227,348	1,285,336	2,611,372
純資産額(千円)	14,433,778	16,807,139	15,680,788
総資産額(千円)	21,855,121	26,687,870	23,043,245
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	133.01	134.54	280.04
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	64.4	61.3	66.2
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,070,831	1,197,997	2,554,962
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	1,102,056	876,798	2,098,785
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	232,021	161,040	373,844
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	7,766,283	8,309,956	8,126,336

回次	第35期 第2四半期連結 会計期間	第36期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年7月1日 至平成24年9月30日	自平成25年7月1日 至平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額(円)	36.63	96.57

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 営業収入には消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

#### （1）業績の状況

（当第2四半期連結累計期間の経営成績）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	増減	増減率 （％）
営業収入	14,946	16,521	1,574	10.5
営業利益	1,981	2,015	34	1.7
経常利益	1,987	2,095	108	5.5
四半期純利益	1,178	1,191	13	1.1

#### 〔経済状況〕

我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に、円安による輸出の増加や関連企業の収益改善、個人消費の持ち直しなど、マインドの改善にも支えられ景気は緩やかに回復しつつあります。

#### 〔当社グループの事業概況〕

当社グループの経営成績は営業収入165億2千1百万円（前年同四半期比10.5%増）、営業利益20億1千5百万円（前年同四半期比1.7%増）、経常利益20億9千5百万円（前年同四半期比5.5%増）、四半期純利益11億9千1百万円（前年同四半期比1.1%増）と増収増益となりました。

##### <営業収入>

- ・ 当社アーティストによる大型コンサートが増加
  - ・ コンサートに関連し、ファンクラブ・商品売上収入が増加
- 上記要因などにより、増収となりました。

##### <営業利益>

- ・ 上記増収要因（コンサート関連の収入）による増益
  - ・ 旧譜印税収入の増加による増益
  - ・ イベント収入（当社アーティストによる舞台公演）の減少による減益
  - ・ イベント収入（新規ミュージカル）の稼働率が低かったことによる減益
- 上記要因などにより、若干の増益となりました。

##### <経常利益、四半期純利益>

- ・ 為替差益の発生
- 上記要因などにより、増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(営業収入)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	11,525	13,975	2,450	21.3
メディアビジュアル事業	2,518	1,430	1,088	43.2
コンテンツ事業	901	1,114	213	23.6
合計	14,946	16,521	1,574	10.5

(セグメント利益)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	増減	増減率 (%)
アーティストマネジメント事業	2,090	2,067	23	1.1
メディアビジュアル事業	74	17	56	76.4
コンテンツ事業	229	339	109	47.8
調整額	413	408	4	-
合計	1,981	2,015	34	1.7

### 【アーティストマネジメント事業】

営業収入139億7千5百万円(前年同四半期比21.3%増)、セグメント利益20億6千7百万円(前年同四半期比1.1%減)となり増収減益となりました。

#### 【主な事業】

- ・ イベント収入：<コンサート>  
サザンオールスターズ(8-9月)、ONE OK ROCK(5-6月)、  
高橋優(5-6月、7-9月)のコンサートツアー  
当社音楽アーティストが一堂に会した野外イベント  
「Amuse 35th Anniversary BBQ in つま恋」(7月)  
<舞台・公演>  
熱海五郎一座「天使はなぜ村に行ったのか」(6-7月)  
ミュージカル「黒執事」(5-6月)  
アミューズミュージカルシアターでの公演(4-9月)
- ・ 出演収入・CM収入：サザンオールスターズ、福山雅治、吉高由里子、上野樹里、大泉洋など
- ・ 印税収入(新譜)：桑田佳祐ライブDVD、PerfumeライブDVD、福山雅治ライブDVDなど
- ・ ファンクラブ収入：サザンオールスターズのファンクラブ会員収入など
- ・ 商品売上収入：サザンオールスターズグッズなど

#### <営業収入>

- ・ イベント収入(大型コンサートの実施)が増加  
(前年同四半期は地球ゴージャス(4-5月)や佐藤健出演の「ロミオ&ジュリエット」(5-6月)などの舞台公演、ボルノグラフィティ(7-9月)、Perfume(4-5月)、flumpool(4-9月)などのコンサートを実施)
- ・ ファンクラブ・商品売上収入が増加(レーベル収入は減少)  
(前年同四半期は福山雅治ライブDVDを2タイトル発売)
- ・ 印税収入(新譜)が増加  
上記要因などにより増収となりました。

#### <セグメント利益>

イベント収入のうち、当社アーティストによる舞台公演が減少したことや、新規ミュージカル事業（アミューズ・ミュージカルシアター）の稼働率が低かったこと、大型作品の発売がなくレーベル収入が減少したことなどにより、全体では若干の減益となりました。

#### 【メディアビジュアル事業】

営業収入14億3千万円（前年同四半期比43.2%減）、セグメント利益1千7百万円（前年同四半期比76.4%減）となり、減収減益となりました。

##### **【主な事業】**

- ・ 福山雅治主演ドラマ「ガリレオ」（9月）
- ・ 大泉洋主演邦画「グッモーエビアン！」（5月）
- ・ 韓国ドラマ「となりの美男（イケメン）」（8月）
- ・ アニメ「君のいる町」（9月）  
などのDVD販売
- ・ 福山雅治主演映画「真夏の方程式」  
などの劇場配給収入

#### <営業収入>

- ・ 大型作品が少なく、DVD販売収入が大幅に減少  
（前年同四半期は「三銃士/王妃の首飾りとダ・ヴィンチの飛行船」（4月）、「カイジ2 人生奪回ゲーム」（4月）、「一命」（4月）、「1911」（6月）などを販売）  
上記要因などにより減収となりました。

#### <セグメント利益>

減収要因により減益となりました。

#### 【コンテンツ事業】

営業収入11億1千4百万円（前年同四半期比23.6%増）、セグメント利益3億3千9百万円（前年同四半期比47.8%増）となり、増収増益となりました。

##### **【主な事業】**

- ・ サザンオールスターズ、福山雅治、BEGIN、ポルノグラフィティ、Perfumeなどによる旧譜楽曲の販売  
及び旧譜楽曲の二次使用

#### <営業収入>

貸与報酬の増加などにより増収となりました。

#### <セグメント利益>

増収要因により増益となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億8千3百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には83億9百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は下記のとおりであります。

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日）	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,070	1,197	127
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,102	876	225
財務活動によるキャッシュ・フロー	232	161	70

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は11億9千7百万円（前年同四半期は10億7千万円の獲得）となりました。

これは、営業債権の増加及び法人税等の支払額などの資金減少要因を、営業債務の増加及び税金等調整前四半期純利益などの資金増加要因が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は8億7千6百万円（前年同四半期は11億2百万円の使用）となりました。

これは、主に定期預金の預入による資金減少要因によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1億6千1百万円（前年同四半期は2億3千2百万円の使用）となりました。

これは、主に配当金の支払に伴う資金減少要因によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	37,247,040
計	37,247,040

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,311,760	9,311,760	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	9,311,760	9,311,760	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日	-	9,311,760	-	1,587,825	-	1,694,890

(6)【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
株式会社オオサト	東京都世田谷区下馬4丁目22番2号	2,335.10	25.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	292.40	3.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8番11号	287.90	3.09
大里 洋吉	東京都世田谷区	225.48	2.42
大里 久仁子	東京都世田谷区	218.56	2.35
アミューズアーティスト持株会	東京都渋谷区桜丘町20番1号	213.92	2.30
株式会社キューズファミリー	東京都渋谷区渋谷1丁目7番1号	200.72	2.16
ビーエヌワイエムエル ノン ト リーティー アカウント (常任代理人 株式会社三菱東京 UFJ銀行)	VERTIGO BUILDING-POLARIS 2-4 RUE EUGENE RUPPERT L-2453 LUXEMBOURG GRAND DUCHY OF LUXEMBOURG (東京都千代田区丸の内2丁目7番1号)	142.50	1.53
株式会社三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7番1号	129.60	1.39
増田 宗昭	大阪府枚方市	118.80	1.28
計	-	4,164.98	44.73

- (注) 1. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数のうち信託業務に係る株式数は、日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)292.40千株、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)287.90千株であります。
2. 上記のほか、自己株式が458.02千株あります。



(7)【議決権の状況】  
【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 458,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,657,800	86,578	-
単元未満株式	普通株式 195,960	-	-
発行済株式総数	9,311,760	-	-
総株主の議決権	-	86,578	-

(注)「完全議決権株式(その他)」の「株式数」欄には、証券保管振替機構名義の株式が200株含まれております。  
また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数2個が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社アミューズ	東京都渋谷区桜丘町 20番1号	458,000	-	458,000	4.92
計	-	458,000	-	458,000	4.92

2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,646,930	11,333,431
受取手形及び営業未収入金	3,387,783	5,147,165
商品及び製品	1,041,752	1,256,470
仕掛品	1,183,288	1,774,303
貯蔵品	39,494	56,240
その他	1,191,654	1,203,816
貸倒引当金	308,627	288,758
流動資産合計	17,182,276	20,482,670
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	988,736	971,949
土地	1,760,487	1,760,487
その他(純額)	76,288	85,872
有形固定資産合計	2,825,512	2,818,309
無形固定資産	215,362	203,853
投資その他の資産		
投資有価証券	927,692	1,227,225
その他	1,898,076	1,970,824
貸倒引当金	5,674	15,012
投資その他の資産合計	2,820,093	3,183,037
固定資産合計	5,860,968	6,205,200
資産合計	23,043,245	26,687,870

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	4,437,426	7,571,960
未払法人税等	954,542	762,345
役員賞与引当金	37,200	-
返品調整引当金	37,000	9,070
その他	851,089	573,720
流動負債合計	6,317,258	8,917,096
固定負債		
退職給付引当金	910,318	874,552
役員退職慰労引当金	16,472	16,472
その他	118,408	72,609
固定負債合計	1,045,199	963,634
負債合計	7,362,457	9,880,730
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,587,825	1,587,825
資本剰余金	1,694,890	1,694,890
利益剰余金	12,598,860	13,654,462
自己株式	481,250	485,012
株主資本合計	15,400,325	16,452,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,272	18,395
為替換算調整勘定	153,578	114,906
その他の包括利益累計額合計	144,306	96,510
少数株主持分	424,769	451,485
純資産合計	15,680,788	16,807,139
負債純資産合計	23,043,245	26,687,870

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業収入	14,946,382	16,521,326
営業原価	11,339,669	13,044,218
営業総利益	3,606,713	3,477,107
返品調整引当金戻入額	14,460	27,930
差引営業総利益	3,621,173	3,505,037
販売費及び一般管理費	1,639,460	1,489,311
営業利益	1,981,712	2,015,726
営業外収益		
受取利息	4,894	2,993
受取配当金	1,763	4,109
為替差益	-	42,365
受取手数料	6,128	7,409
持分法による投資利益	14,427	14,966
貸倒引当金戻入額	-	10,531
その他	3,281	2,312
営業外収益合計	30,494	84,689
営業外費用		
事業組合投資損失	3,378	218
為替差損	20,605	-
固定資産除却損	126	4,336
その他	816	3
営業外費用合計	24,927	4,558
経常利益	1,987,280	2,095,857
税金等調整前四半期純利益	1,987,280	2,095,857
法人税、住民税及び事業税	752,626	751,997
法人税等調整額	15,285	106,319
法人税等合計	767,912	858,317
少数株主損益調整前四半期純利益	1,219,367	1,237,539
少数株主利益	41,152	46,245
四半期純利益	1,178,215	1,191,294

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,219,367	1,237,539
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,810	9,123
為替換算調整勘定	5,170	38,672
その他の包括利益合計	7,980	47,796
四半期包括利益	1,227,348	1,285,336
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,186,195	1,239,091
少数株主に係る四半期包括利益	41,152	46,245

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,987,280	2,095,857
減価償却費	103,645	97,509
貸倒引当金の増減額(は減少)	2,282	10,531
役員賞与引当金の増減額(は減少)	35,200	37,200
返品調整引当金の増減額(は減少)	14,460	27,930
退職給付引当金の増減額(は減少)	38,411	35,765
受取利息及び受取配当金	6,657	7,103
持分法による投資損益(は益)	14,427	14,966
事業組合投資損益(は益)	3,378	218
固定資産除却損	126	4,336
営業債権の増減額(は増加)	374,038	1,907,252
たな卸資産の増減額(は増加)	298,052	822,479
営業債務の増減額(は減少)	75,612	3,134,533
未払消費税等の増減額(は減少)	170,748	20,576
その他の流動資産の増減額(は増加)	316,387	55,166
その他の流動負債の増減額(は減少)	203,289	290,812
その他	65,780	126,366
小計	2,224,108	2,127,790
利息及び配当金の受取額	4,442	7,237
法人税等の支払額	1,176,358	941,488
法人税等の還付額	18,639	4,457
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,070,831	1,197,997
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	1,000,000	2,500,000
定期預金の払戻による収入	-	2,000,000
有形固定資産の取得による支出	13,616	29,831
無形固定資産の取得による支出	11,070	45,587
投資有価証券の取得による支出	550	270,400
子会社株式の取得による支出	31,590	-
貸付けによる支出	45,353	-
貸付金の回収による収入	1,854	1,550
その他	1,730	32,529
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,102,056	876,798
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	847	3,761
配当金の支払額	219,078	132,400
少数株主への配当金の支払額	6,642	19,530
その他	5,453	5,348
財務活動によるキャッシュ・フロー	232,021	161,040
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,119	23,462
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	260,127	183,620
現金及び現金同等物の期首残高	8,026,411	8,126,336
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,766,283	8,309,956

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
退職給付費用	12,424千円	12,758千円
貸倒引当金繰入額	2,282	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	9,285,130千円	11,333,431千円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	1,518,846	3,023,474
現金及び現金同等物	7,766,283	8,309,956

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月24日 定時株主総会	普通株式	221,463	25	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額の内訳 普通配当 10円 記念配当 15円

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月13日 取締役会	普通株式	132,866	15	平成24年9月30日	平成24年12月5日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月23日 定時株主総会	普通株式	132,830	15	平成25年3月31日	平成25年6月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間  
末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月13日 取締役会	普通株式	199,209	22.5	平成25年9月30日	平成25年12月5日	利益剰余金

(注) 1株当たり配当額の内訳 普通配当 15円 記念配当 7.5円



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	11,525,642	2,518,970	901,769	14,946,382	-	14,946,382
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	24,036	242,503	42,589	309,129	309,129	-
計	11,549,679	2,761,474	944,358	15,255,512	309,129	14,946,382
セグメント利益	2,090,765	74,534	229,851	2,395,151	413,438	1,981,712

(注)1. セグメント利益の調整額 413,438千円には、セグメント間取引消去 222千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 413,216千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	アーティスト マネージメント 事業	メディア ビジュアル 事業	コンテンツ 事業	計		
営業収入						
外部顧客への 営業収入	13,975,751	1,430,722	1,114,852	16,521,326	-	16,521,326
セグメント間 の内部営業収 入又は振替高	26,928	87,879	52,584	167,392	167,392	-
計	14,002,679	1,518,602	1,167,437	16,688,719	167,392	16,521,326
セグメント利益	2,067,067	17,609	339,694	2,424,372	408,646	2,015,726

(注)1. セグメント利益の調整額 408,646千円には、セグメント間取引消去13,789千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用 422,436千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	133円01銭	134円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,178,215	1,191,294
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,178,215	1,191,294
普通株式の期中平均株式数(株)	8,858,257	8,854,273

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年11月13日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議いたしました。

(イ) 配当金の総額.....199,209千円

(ロ) 1株当たりの金額.....22円50銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日.....平成25年12月5日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行います。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月13日

株式会社アミューズ

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 百井 俊次 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 石田 大輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社アミューズの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社アミューズ及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。